

プロジェクトマネージャ 解答例

【午後 I】

問1 (配点 50 点)

設問1 (21 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) 新事業の不確実性に対応しシステム開発の初期費用を抑えるため
- (2) 顧客のニーズや他社動向の急激な変化が予想される環境に適合する
- (3) 仮説と検証を繰り返しての決定を多くの時間を掛けずに行えるから

設問2 (13 点:(1)7 点, (2)6 点)

- (1) 期間を決めチームで小刻みな開発とリリースを繰り返す適応型の開発手法
- (2) 従来の D 社の考えにとられないチームにするため

設問3 (16 点:(1)a, c, d:各 2 点 b:3 点 (2)7 点)

- (1) a:回避
b:リスク許容度
c:強化
d:転嫁
- (2) 事業部とシステム部の両方から人員を出してチームを編成する。

問2 (配点 50 点)

設問1 (8 点)

マネジメントプロセスの修整を適切に行いプロジェクト計画に反映すること

設問2 (21 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) 要求事項の実現に必要なコスト見積り額
- (2) 施策に対応する要件ごとにリリースする。
- (3) 状況の変化に適応した新たな施策を速やかに展開すること

設問3 (21 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) L 社業務管理システム及び業務の全体を理解したメンバ
- (2) 現状の正確性と処理性能を維持しているかという観点
- (3) L 社業務管理システムの改善による顧客の体験価値を高める効果

問3 (配点 50 点)

設問1 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) 経営陣の中にいる X 社派と Y 社派からの要求や指示を一本化すること
- (2) X 社と Y 社が 3 社に関わる課題や調整事項への対応に積極的になること

設問 2 (22 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)8 点)

- (1) 各工程のマイルストーンを X 社と Y 社で一致させる。
- (2) 準委任契約では A 社に X 社や Y 社に対する指揮命令権がないから
- (3) X 社や Y 社の技術者を加えて 3 社で詳細設計に不整合がないかを確認する。

設問 3 (12 点:(1)7 点, (2)5 点)

- (1) 変更がお互いのシステムに影響するかどうかを確認する
- (2) マネジメント予備を準備する。

以上